

実験日	2023	年 05 月 31 日
	実験開始時刻	実験終了時刻
時刻	12:56	14:55
天候	くもり	晴れ
気温	22.5[°C]	22.9[°C]
湿度	71[%]	67[%]
気圧	1007.0[hPa]	1006.3[hPa]

(気温、湿度、気圧が不明の場合は不明と記す)

学生番号	22122003	実験日	2023/05/31
表紙	時刻・天候等(表), 実験題目, 報告者・共同実験者名, ホッチキス綴じ		
構成	目的, 理論, 方法, データ, 計算, 結果, 考察		
理論	理論式, 式の説明, 式の導出、説明不足, 論理性, 単位		
方法	方法が違う, 欠落, 図, 表, 説明不足		
測定	計測ミス, 箇所, 5回以上, 器具(選択・使用法・目分量まで)		
データ	生データ(表), 有効数字, 単位欠落, 単位間違い		
表	番号, タイトル, 記載位置, ページ内, 罫線, 桁揃え, 0, 単位		
計算	理論式, 途中計算, 誤差計算, 最小二乗法, 価値平均, 計算ミス, 単位		
有効数字	計算時考慮, 四捨五入, 誤差1桁, 最確値, 数値表記, 指数表示		
グラフ・図	番号, タイトル, 記載位置, 軸の罫線, 軸名・単位, 目盛り線と値		
グラフの線	測定点(プロット), 実験式(直線・曲線), 線の区別(実線・破線・色)		
結果	まとめて表示する, 実験目的との対応, 単位		
考 察	どのようなことが結論づけできるか		
	結果の比較検討(公称値, 他の測定値, 予測値)		
	誤差の評価(原因, 定性的, 定量的, なし, 少ない, あと一息)		
	実験方法の改良点, 改良により定量的に期待できること		
	結果からどのような理解が得られるか		
その他	未完成, 追加実験, 形状から計算, 理解不足, 出展記載		
提出			
返却			

実験題目

顕微鏡による板および液体の屈折率の測定

	課程名	学生番号	氏 名
実験報告者	情報工学課程	22122003	阿波野 隼英
		22122001	AHMAD ZAID BIN ROSLI
共同実験者	情報工学課程	22122002	新井 香澄